

生駒南・大瀬中校区 地域ぐるみだより

発行：生駒南・大瀬中学校校区地域ぐるみ推進委員会

— “地域ぐるみ” って・・・？ —



生駒南・大瀬中学校校区地域ぐるみ推進委員会

会長 日高 容子

先日、県内の小中高生の「児童・生徒会連絡会」を見る機会がありました。6つの高校が表彰され、それぞれの生徒が取組を発表していました。その中で、共通するのは、どの学校も「地域ぐるみの取組」という言葉で報告していたことです。

また、「学校・家庭・地域の教育力」が大事であると言われて久しくなりますが、果たして現実はいかがでしょう。不審者であったり、女兒の誘拐事件があったりと、なかなか人を信じるのが難しい世の中になってきています。しかし、昔から「人を見たら、泥棒と思え。」という言葉もあります。そうなんです。決して今の世の中が悪くなっているわけではありません。いつの世にもいろんな人はいたのです。「人を信じること」「人を大事にすること」「じぶんとは違う他人を認めること」・・・その人の話を聞いて、議論してもいい、時にはけんかをしてもいい。ただ、賢く仲直りをするのです。また、「人に思いをよせること」、そのことが、即ち地域ぐるみの活動そのもののような気がします。

目の前にいる人に、また横に座っている人に、思いを馳せ心を寄せ合うことができれば、それだけで暖かい空気が流れるような気がします。笑顔でのあいさつができれば、いえいえ、軽い会釈で充分です。恥ずかしさで声も出せなくても、目と目を合わすだけでもいい・・・そんなあいさつを私は、いつも誰とでもしたいと思うのです。それなら、誰だってできるはずですから。今日から、たった今からすれ違う人と軽い会釈や目と目のあいさつをしましょうよ。誰のためでもない、自分が心地よくなるために・・・。

また、どの団体に属しているからではなく、そこにいる人、一人ひとりが地域の人ですから、全ての人を巻き込んだ取組や働きかけができれば、それこそ「地域ぐるみ」になるのでしょうか。楽しみですね。そんな地域にしていきたいと願わずにはいられません。

《今年度の主な活動》

★推進委員会★

- 第1回 7月14日(火) 自己紹介、年間活動計画
- 第2回 10月20日(火) 講演会 向出 佳司氏(常盤会学園大学 教授)
テーマ『人生・出会い ～親の目、子の芽、地域の眼～』
- 第3回 3月8日(火) 一年間の総括



～講演会の内容紹介～

第二回推進委員会では、向出佳司氏(常盤会学園大学教授)をお迎えして「～親の目・子の芽・地域の眼～」と題して、講演会を開催しました。

向出先生は、臨床心理士でもあられ、文部科学省「いじめ」「不登校」の認定カウンセラーとしてもご活躍されておられます。また法務省人権擁護委員・日本「いのちの電話」特別相談員の活動もされておられます。

今回の講演は、ご自身の豊富な実践活動を通して、子どもたちが今おかれている現状や人との関わり方について、熱く語っていただきました。自尊感情を失っている子どもたちとの出会いでは、「押(お)しむ」「教(お)しむ」ではなく、「愛(お)しむ」ことだと話されました。人との出会いをとっても大切にされておられる人間味あふれる講演でした。



☆1月30日(土) 子育て交流会☆ (参加者 総勢約240名)

1月30日(土)、せせらぎホールにて、「子育て交流会」を開催しました。

生駒南中学校吹奏楽部のみなさんは、みんながよく知っている曲を楽しく演奏してくれました。ダンスや司会も堂々としたもので、地域の子どもの頑張っている姿を見ることができました。

ゴスペル☆IKOMAの歌は、みんなが参加できるコーナーあり、本格的なゴスペルありで、観客を魅了しました。

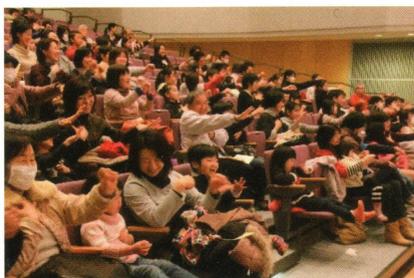
まつだこうきさんのパフォーマーは、手品やジャグリングはさることながら、話芸でも観客を引き込んでいきました。イベントを盛り上げてくださった多くの方々、ありがとうございました!!



中学生のとても完成度の高い演奏で素晴らしかったです。とても楽しそうに踊っている姿も印象的でした。



子どもと一緒に楽しめて、いっぱいのお話ができ、いい思い出ができました。



ゴスペル☆IKOMAのみなさんの生き生きした表情が特に印象的でした。



地域のがんばっているみなさんの姿を見ることができ、パワーをもらいました。

まつだこうきさん、お話もおもしろく、子どもマジックをとても楽しんでいました



子どもたちが、喜んでくれるのが、一番うれしいですね。地域ぐるみの催しが、子どもたちの育成に役立っていけるようにしていきたいですね。

☆その他の地域のみなさんの取組の紹介☆



雪まつり



防災訓練

あいさつ運動

(やまびこネットワーク・あいさつタウン南)

